

消費者が好む鍋料理は…



消費者に肉鍋料理できく

有効回答数は 863 件

本格的な鍋物のシーズンである。日本には数多くの鍋料理が存在するが、食肉を使ったものも数多い。牛、豚、鶏はいうに及ばず猪、鴨、馬、鹿、羊、熊、雉など。また鍋料理のもう一つの特長は、地方色があるということ。鍋料理は土地柄に合わせて成立してきた料理でもあるといえる。今回のネットでアンケートは食肉の鍋料理に焦点を絞り、家庭で行われる鍋料理は、いくらぐらいの価格で、何人で行っているのか。また各地域ごとの鍋料理の特長はなどを探ってみた。

アンケート期間は11月中旬。有効回答数は863。男女の比率は女性55%、男性45%。平均年齢は36.3歳。都道府県別の回答数の割合は、東京が12.1%、神奈川10.9%、大阪8.9%、埼玉6.4%、兵庫5.7%、愛知5.6%の順。

Q1 あなたが家庭でよく食べる鍋物は？	
主に魚を使ったもの	8.7%
主に食肉を使ったもの	63.1%
魚と食肉、両方を使ったもの	24.8%
その他	3.4%

食肉使用の鍋 63% 占める 魚使用はわずか 8% 台

魚介類を使った鍋料理も数多く存在するが、アンケートでは「主に食肉を使ったもの」の回答割合が6割を超えた。「魚と食肉、両方を使ったもの」の割合も24.8%と3割近くあり、この2つを合わせると9割近い人が食肉を使った鍋料理をよく食べるということになる。

男女別にこの回答をみると、女性の「主に食肉を使ったもの」の割合は66.5%と平均値よりも若干高くなっている。代わりに「主に魚を使ったもの」の割合が6.3%と2ポイント以上低くなっており、「魚と食肉、両方を使ったもの」の割合も23.6%と平均値から1%以上低くなっている。このアンケートからは女性の方が食肉を使った鍋料理を好むという結果になった。

さらに女性の年代別にこの数字をみると、29歳以下では「主に食肉を使ったもの」の数字が68.3%と女性の平均値よりも高くなっている。全体の平均値と比較すると5%以上も高いということになる。

男性の数字をみると「主に食肉を使ったもの」の割合が59%と6割を切っており、代わりに「主に魚を使ったもの」の割合が11.7%、「魚と食肉、両方を使ったもの」が26.2%と2つとも平均値より高くなっている。年代別では29歳以下の男性の「主に食肉を使ったもの」の割合は61%と男性全体の平均値よりも高くなっており、女性の29歳以下と合わせて考えるとやはり、若い人の方が、食肉を使った鍋料理を好むという結果になった。

さらに女性の年代別にこの数字をみると、29歳以下では「主に食肉を使ったもの」の数字が68.3%と女性の平均値よりも高くなっている。全体の平均値と比較すると5%以上も高いということになる。

Q2 Q1で「主に食肉を使ったもの」と回答された方におきまします。それはどんな鍋ですか？	
すき焼き（牛肉を使用した）	31.2%
すき焼き（豚肉を使用した）	5.4%
すき焼き（鶏肉を使用した）	0.0%
しゃぶしゃぶ（牛肉を使用した）	7.2%
しゃぶしゃぶ（豚肉を使用した）	10.2%
しゃぶしゃぶ（鶏肉を使用した）	0.2%
水炊き（牛肉を使用）	1.8%
水炊き（豚肉を使用）	11.4%
水炊き（鶏肉を使用）	16.1%
ぼたん鍋	0.3%
鴨鍋	0.7%
キムチ鍋	15.6%
さくら鍋	0.0%

トップはすき焼き（牛肉）で31% 次いで水炊き（鶏肉）の16%

「すき焼き（牛肉を使用した）」の回答割合が一番高く、3割以上の

数字となった。次いで「水炊き（鶏肉を使用）」の16.1%、「キムチ鍋」

の15.6%の順となったが、2位、3位とも1位の「すき焼き（牛肉を使用した）」の半数ほどの数字というくらい、やはりすき焼きは多くの人の支持を得て、人気が高いと結果になった。

では地域別にこの回答をみると、回答割合高かった「東京、神奈川、埼玉」を合わせた地域では「すき焼き（牛肉を使用した）」の割合は28.2%と全体の平均値よりも低くなっており、代わりに幾分だが、高くなっているのが、「しゃぶしゃぶ（豚肉を使用した）」で11.9%となっている。

「大阪、兵庫、京都」の地域では「すき焼き（牛肉を使用した）」の割合は34.9%と、全体の平均値よりも高くなっている。また、「しゃぶしゃぶ（牛肉を使用した）」の回

答の割合も11.9%と高くなっており、「キムチ鍋」に関しても16.5%と平均値以上の数値となった。逆に低かったのは「水炊き(鶏肉を使用)」で11.9%と5%以上のダウンとなっている。

「愛知、静岡」の数値をみると、「すき焼き(牛肉を使用した)」の割合が43.9%と他の地域に比べて圧倒的に高くなっている。またすき焼き(豚肉を使用した)の割合

も7%と全国的な平均からみても高く、この2つの数値を合わせると、半数以上の人々が「すき焼き」を好むという結果になった。代わりに低くなっているのが、「しゃぶしゃぶ(豚肉を使用した)」で1.8%という低い数値となっており、全国的な平均と比較すると、1割以上の低い割合となっている。

なおこの「しゃぶしゃぶ(豚肉を使用した)」は福岡で21.1%、北海

道で23.1%と全国平均の以上の数値となっている。また「その他」の回答も約14%あり、やはり鍋料理の範疇かなり広く、地域ごとにも特色のある鍋料理が多くあるのではと考えられる。

男女間の違いをみると、男性では「すき焼き(牛肉を使用した)」の割合が39.3%となっているのに対して、女性の割合は25.4%と1割以上低くなっており、このアンケートからは男性の方が「すき焼き(牛肉を使用した)」を好むという結果になった。女性で男性と比較して回答の割合が高かったのが「水炊き(豚肉を使用)」の12.6%と、「水炊き(鶏肉を使用)」の17.3%。「キムチ鍋」の18.2%は男性と比べると6%以上の差が出ている。また年代別にみるとこの「キムチ鍋」、女性の29歳以下では26.3%かなりの高い支持を受けている。



Q3 Q2で選ばれた鍋物の好きな理由はお答え下さい。	
おいしいから	51.9%
暖まるから	14.7%
手軽だから	16.2%
わが家の定番鍋だから	9.1%
地元の伝統料理だから	0.6%
家族団らんで食べられるから	7.5%

好きな理由は「おいしい」52% 女性の「手軽だから」18%

では、その鍋の好きな理由は何なのか。やはり「おいしいから」との回答が5割以上となり、大半を占める結果となった。次いで高か

ったのが「手軽だから」の16.2%。鍋といえば、手の込んだ料理と思われがちだが、最近は簡便化志向の家庭でも簡単に出来る鍋セット

などの販売もあり、この「手軽だから」の割合が高くなったと考えられる。「暖まるから」が14.7%となっているが、この回答も鍋料理の定番の回答であろう。

では男女別にこのアンケート結果をみる。「おいしいから」はともに5割以上の数値となっており、女性で、男性と比較して回答の割合が高かったのが、「手軽だから」の18.3%。買い物に行き、料理をつくる機会の多い女性のこの数値は、やはり鍋料理の簡便性の高まりが現れているということなのだろうか。男性で高かったのが「暖まるから」で、16.2%という値となった。

Q4 家庭で鍋物をする場合、一番多い日は?	
平日	5.6%
週末	44.8%
祝日	4.6%
とくに決めていない	45.0%

鍋物の曜日は「週末」45% 「決めてはいない」もほぼ同率

「とくに決めていない」の割合が45%となっており、拮抗しているのが、「週末」の44.8%。「とくに決めていない」の割合が高いのはや

はり、簡便性の高いセット商品の高まりが、いつでも鍋が手軽に出来るようになったということであろう。

質問5 鍋物を食べる場合の構成で多いのは?	
家族	83.5%
友人と	7.5%
一人で	4.4%
その他	4.5%

鍋は「家族」でが最多84% 「一人」ではわずか4%

鍋というと“一家団欒”というイメージがある。この質問からも、そのイメージ通りの回答結果が得られた。「家族」の割合が圧倒的に高く83.5%となっており、次いで「友人と」が7.5%。この2つを合わせると9割以上の人々が複数的人数で鍋を食べるということになる。

簡便性志向の鍋では、1人用の鍋セットも用意されており、「1人で」の回答が4.4%となったのは、そのようなアイテムの普及によるものなのか。これから何年先、同じアンケート実施した場合、この「1人で」という回答の割合はさ

らに高くなっている可能性がある。



男女別にこの数値をみると、女性の方が「とくに決めていない」の割合が40.8%と低くなっており、いくら簡単に出来るようになったからといっても、普通の料理と比べても鍋は手間が多い料理。やはり買い物を任せられる場合が多い立場からは計画的な買い物をということになるのだろうか。売り場に出向き「急に鍋を」という発想にはなかなか結びつかないのかもしれない。

男女別にこの数値をみると、女性では「家族」の割合が88%と平均値よりも、さらに高くなっている。また男性では、「家族」の割合は、78.1%と8割を切っており、代わりに「友人と」の割合が8.8%、さらには「1人で」割合が7.7%全体の平均値と比べて3%以上も高い数値となった。ちなみに女性の「1人で」の割合は1.7%という低い割合であった。

Q 6 1回の鍋料理に使う費用（食肉、野菜など含めて）は？。そのときの人数もお書き下さい。（カッコ内は平均人数）	
500～999円	22.8% (1.2)
1,000～1,499円	25.3% (1.9)
1,500～1,999円	13.8% (2.4)
2,000～2,499円	9.5% (3.4)
2,500～2,999円	4.9% (3.3)
3,000～3,499円	7.4% (3.4)
3,500～3,999円	3.4% (4.0)
4,000～4,499円	1.7% (3.1)
4,500～4,999円	1.3% (4.2)
5,000～5,499円	2.0% (3.1)
5,500～5,999円	0.7% (3.8)
6,000～6,499円	0.2% (2.0)
6,500～6,999円	0.2% (5.5)
7,000円以上	1.9% (4.6)
無回答	5.0% (1.1)

鍋囲む人数は平均 2.3 人 1人あたり費用 771円

全体の平均人数は2.3人となり、
回答の割合が多かった3,999円ま

Q 7 鍋物に使う食肉のこだわる要素は？	
価格	22.6%
品質・味	46.9%
鮮度	11.6%
安心・安全	7.6%
量目	4.8%
健康・美容	1.4%
特定の店舗で購入する	1.6%
その他	3.5%

こだわりトップは「品質・味」 次いで「価格」、「鮮度」など

Q 3の質問と合わせて考えると、やはり「品質・味」の回答割合が高かった。46.9%と半数近い人が「品質・味」にこだわりをもって

た。
では地域別に3,999円までの回答を比較してみる。

「東京、神奈川、埼玉」の地域では回答の割合が高かったのは、「1,000～1,499円」で27.6%となり、そのときの人数の平均は1.7人。次いで、「500～999円」の20.9%で平均の人数は1.3人という結果になった。

「大阪、兵庫、京都」に関しても「1,000～1,499円」の割合は高く、20%（平均人数1.7人）であったが、「東京、神奈川、埼玉」と比較して倍くらい高かったのが「2,000～2,499円」の14.5%。またこの回答は平均の人数が4.3人となっており、全体の平均人数と比較しても約1人分多くなっているのが特長だ。

にならないときも出てくるであろう。「安心・安全」の数値が1割にも満たないが、それだけ売り場における「安心・安全」というものが浸透し、当たり前のような存在になっているからなのだろうか。

男女別にこの回答をみると、意外にも「価格」にこだわりをもっているのが男性の方が多く26.3%。女性は19.6%となった。「品質・味」のこだわりに関しては女性の方が高く48.4%となり、「健康・美容」に関しては女性の方が2.1%、男性の倍以上の割合となっている。

Q 8 鍋物を食べる頻度の多い季節は？	
冬	80.1%
秋	1.9%
春	0.5%
夏	0.2%
1年を通じて	15.1%
無回答	2.7%

季節はやはり「冬」に集中 半面、「1年を通じて」15%占める

やはり、「冬」がダントツである。ただ「1年を通じて」の回答も15.1%と1割以上の支持を得ており、年間を通じて定番の鍋料理が

昇が影響しているのかもしれない。



Q 9 現在、野菜の価格が高くなっておりませんが、その影響は家庭で行う鍋料理にも出てくると考えられます。では野菜の高騰が続いた場合、冬場における家庭での鍋料理の変化は？

鍋をする回数（1月あたり）は3.8回を2.4回にするかも
鍋の価格（1回あたり）は2,075円を1,911.9円にするかも

野菜高で鍋減らす（-1.4回） 減らす度合い高い愛知県

昨年台風などの影響で野菜の価格が高騰をした。その結果、鍋にも多くの影響を及ぼすこと

回答割合の高かった都道府県別にこの回答をみると、別表のようになるが、この中で一番差が大きかったのが、回数で愛知県が-1.7回と一番大きく、価格では神奈川県が-374.5円が一番大きかった。この数値で変わっているのが静岡県。回数は-1.2回だが、価格はプラスの48.2円となっており、回数を減らすとその分価格を幾分上げるといった結果となった。

東京	鍋をする回数（1月あたり）3.7回を2.4回にするかも 鍋の価格（1回あたり）1710.8円を1509.7円にするかも	兵庫	鍋をする回数（1月あたり）3.9回を2.6回にするかも 鍋の価格（1回あたり）2492.6円を2321.3円にするかも
大阪	鍋をする回数（1月あたり）4.1回を2.6回にするかも 鍋の価格（1回あたり）2481.8円を2381.8円にするかも	愛知	鍋をする回数（1月あたり）3.9回を2.2回にするかも 鍋の価格（1回あたり）2008.7円を1904.3円にするかも
神奈川	鍋をする回数（1月あたり）3.5回を2.1回にするかも 鍋の価格（1回あたり）2192.6円を1818.1円にするかも	北海道	鍋をする回数（1月あたり）3.2回を1.8回にするかも 鍋の価格（1回あたり）1778.9円を1528.9円にするかも
千葉	鍋をする回数（1月あたり）3.3回を1.9回にするかも 鍋の価格（1回あたり）1800円を1573円にするかも	静岡	鍋をする回数（1月あたり）3回を1.8回にするかも 鍋の価格（1回あたり）1782.8円を1831円にするかも
埼玉	鍋をする回数（1月あたり）3.7回を2.3回にするかも 鍋の価格（1回あたり）2105.6円を1950.9円にするかも	広島	鍋をする回数（1月あたり）4.2回を2.6回にするかも 鍋の価格（1回あたり）1692.9円を1367.9円にするかも